

産婦人科専門研修プログラム

千葉の力を結集して、産婦人科専門医を育てます！

千葉大学医学部附属病院を基幹病院とする研修プログラムです。千葉県内を中心に29の主要な病院が参加しています。「千葉の力を結集」して、新しい時代の産婦人科医療を担う人材を育てます。

受入れ人数 : 16名
選考方法 : 書類選考、面接

■ プログラムの“ここがポイント”

〈多数の施設によるmultidimensionalな研修〉

1. 多彩なニーズの専攻医を受け入れます。
2. 多数の研修施設が、統一フォーマットで研修を担当します。

〈充実した研修体制〉

1. 自らの研修成果を評価して、個々の研修プランを調整します。
2. スムースにサブスペシャルティ研修に移行できます。
3. リサーチマインドを養い育てます(希望者は、研修中に大学院に進学することができます)。

安心して十分な研修ができるように、一人ひとりにメンターが対応します。

プログラム責任者と研修医が相談しながら、研修先を決定する自由度の高いプログラムです。

■ プログラムの内容 * 詳細は裏面

1. 基本コース
2. 育児・復職支援研修コース
3. 産婦人科初期研修プログラム連動コース

■ 専門研修期間:3年

■ 研修連携施設 28 施設

■ プログラム責任者 碓井 宏和

連携施設

君津中央病院、帝京大学ちば総合医療センター、松戸市立総合医療センター、千葉医療センター、船橋中央病院、千葉市立海浜病院、順天堂大学医学部附属浦安病院、旭中央病院、千葉市立青葉病院、千葉県がんセンター、千葉徳洲会病院、千葉メディカルセンター、東京歯科大学市川総合病院、東京女子医科大学八千代医療センター、東邦大学医療センター佐倉病院、成田赤十字病院、船橋二和病院、日本医科大学千葉北総病院、船橋市立医療センター、東京ベイ・浦安市川医療センター、くぼのやウィメンズホスピタル、小張総合病院、沼津市立病院、国際医療福祉大学成田病院、獨協医科大学病院

連携施設(地域)

千葉ろうさい病院

連携施設(地域-生殖)

加藤レディースクリニック、新橋夢クリニック

■ 研修プログラムに関するお問合せ先

千葉大学産婦人科
専攻医研修制度担当
医局長 石川 博士
tel: 043-226-2121
e-mail: ishikawa@chiba-u.jp

お気軽に
お問合せ
ください！

千葉大学病院 総合医療教育研修センターHP
<https://www.ho.chiba-u.ac.jp/chibauniv-resident/>

千葉大学病院 見学のお申込み
<https://www.ho.chiba-u.ac.jp/chibauniv-resident/visit/index.html>

1. 基本コース

1年目	2年目	3年目
基幹施設	連携施設	連携施設 (基幹施設)
基幹 → 連携		連携 → 基幹
連携 → 基幹	連携施設	基幹 → 連携
スタートアップレクチャー 産婦人科基礎 妊娠・分娩の基礎 生殖補助技術の経験	産婦人科応用 良性手術実践 正常妊娠・分娩管理実践 外来診療実践	産婦人科応用 地域医療の実践 ハイリスク妊娠・分娩管理実践 婦人科悪性腫瘍の診断・治療 生殖補助技術の適応と実践
	<ul style="list-style-type: none">・周産期・婦人科腫瘍・生殖内分泌・女性のヘルスケア	オプション研修 周産期重点研修 婦人科悪性腫瘍重点研修 新生児研修(2か月単位) 麻酔科研修(2か月単位) 産科クリニック研修 不妊専門クリニック研修

- * 3年目は経験症例数により、希望によりオプション研修を行うことができます
以下の③-⑥の研修は基幹施設研修中に短期研修で可能です
①周産期重点研修(6ヶ月単位)②婦人科悪性腫瘍重点研修(6ヶ月単位)
③新生児研修④麻酔研修⑤産科クリニック研修⑥不妊クリニック研修

2. 育児・復職支援研修コース

女性医師で妊娠、出産により一時的に職場をはなれた場合や、子育てのために研修に十分時間がとれない場合(男性医師も含む)、病気療養後の復帰支援などのためのプログラムです。育児支援では、院内保育の可能な病院を中心に、日勤帯を基本とした研修プログラムを個々の専攻医の希望に合わせて作成します。研修期間は、3年が基本ですが、研修進捗状況に合わせて延長も可能です。

3. 産婦人科初期研修プログラム連動コース

(初期研修時に産婦人科コースを選択した専攻医のためのプラン)

2年間での研修修了要件の修了をめざし、3年目はサブスペシャルティー研修も可能です(ただし、サブスペシャルティー専門研修の症例数にはカウントされません)。
他の専門研修プログラムへの国内留学も、希望があれば選択可能です。